文学館だより

令和 5年 2月 1日
若山牧水記念文学館
TEL 0982－68－9511
文責 日高

2月11日、文学館が交流会会場となり、「ヒュー！日向 マッチング短歌」が開催されます。22日は若山牧水賞受賞歌人 奥田亡羊氏が牧水生家、文学館を訪問されます。今からワクワクが止まりません。

第10回 髙森文夫を偲ぶ詩大会表彰式 3年ぶりに開催

入賞者のみなさん

一席 奈須蓮茉さんによる朗読

会場風景

文学館は、若山牧水とともに詩人髙森文夫（日向市東郷町山陰出身）の顕彰を行っており、毎年、市内の小学4～6年生を対象に「髙森文夫を偲ぶ詩大会」を実施している。その表彰式を1月22日（日）、文学館を会場に開催した。3年ぶりに小学生に会えると思うと、前日、座席に名前を貼る時から早くも心が弾み出していた。

今年度は市内の小学校13校中9校から621編の作品が寄せられ（昨年度は10校484名の応募）、入賞者16名のうち6年生は4名のみ。4、5年生の健闘が目立った。一席入賞の奈須蓮茉さんには、表彰後、入賞作品の朗読を披露していただいた。

一席　最高の一日

日知屋東小 六年
奈須蓮茉

今日はソフトボールの試合
打席に立って
投手の球にタイミング合わせ
フルスイングすると「カキーン」
この音聞いて打球を探すと
左中間をぬけていた
全力で一塁、二塁、三塁と走る
そして本塁へすべりこむ
際どいタイミングだが
「セーフ」
これだけが聞こえてきた
ぼくのソフトボール初本塁打
みんなはベンチから手を出して
ぼくはそれをハイタッチ
バットとヘルメットをもどす時
カメラを向けられ「パシャパシャ」
その後笑顔で守備へ着く
守備でも球がぼくにとび
それをきっちりアウトにした
今日は最っ高の一日だ

住作　みなと祭り

細島小 四年
本部恵惟

たいこの音が　ドンドン
みんなのかけごえ　ヨイヤサ
みんなのえがお　ニコニコ
たいこ台ゆれる　グラグラ
もりあがる　みなと祭り
みんなわくわく　みなと祭り
大声だして　みなと祭り
これが細島のおまつりだ

牧水母校作品展　今年も始まりました

日向市立坪谷小学校、宮崎県立延岡高等学校、早稲田大学短歌会のご協力の下、今年度も牧水母校作品展を開催することができた。3校の皆さまには心よりお礼申し上げる。

【 坪谷小学校全校児童の作品 】

あたらしいうきわをもってかわへいくうきうきぶくぶくさかなをはっけん	1年
ごくごくとオレンジジュースおいしいなはじめてじぶんでかんをあけたよ	1年
ハートがたさくらのはなびらまっているあたらしいはることしがはじまる	1年
雨がふりとってもさむいびしょぬれだ水がぽたっと地めんにおちた	2年
妹がリズムにのって楽しそうダンスしながら遊んでるんだ	2年
入学式桜といっしょに弟がにこにこ笑顔で入場するよ	3年
お母さん料理ができてうらやましいぼくもいつかはコック様	3年
はかまいり大きなチョウがひらひらともしかしたらじじとばばかな	3年
とばされるつよい春風ぼくにふくとばされないぞぼくはふんばる	3年

ひまわりに水をあげるの楽しいな外は暑いよたくさん飲んで　4年
とけちゃうよアイスクリームおいしそうどこから食べようほんとにとけちゃう　4年
天国からとつぜん地ごくになっちゃったお母ちゃんからふとんをとられて　4年
かま持つ手ザクザクザクといねをかるおいしお米のめぐみにかんしゃ　4年
おすず山ほこりを持ってろうえいすつぼやのせんぱい若山牧水　5年
だされると手が止まらない祖母のめしとくにわたしはなま酢が好物　5年
母の日に感謝の気持ちを伝えよう育ててくれてありがとうの日　5年
おいしいな口に入れると肉汁が動物命おいしい牛肉　5年
じろじろとかさを見つめる子ども達かさにぎりしめ母の顔思う　6年
戦争や争いがある国もあるだから毎日平和が大事　6年

【 延岡高校校内牧水短歌コンクール受賞作品 】

満員の電車で友が足踏まれぼそり「踏まれて強くなるの」と　1年
満員の揺れ動く箱のなか二つ交わる視線高鳴る鼓動　1年
少しでも母の疲れを癒やすためついでに買った塩豆大福　1年
微積分多才なあなたに疲れたのもう面積は求めたくない　2年
夕立で駆け込む屋根に陰二つ今の静寂（しじま）が続けばいいと　2年
気がつくといつでも君をながめてる君は太陽？ヒマワリの僕　2年
ピストルが知らせる君のラストラン自分と友を信じて走れ　3年
月五万（じゅくだい）と両親の思い散ってゆく英語のテスト弟二点　3年
桜舞い君の姿が美しく我に返ってこいにそらす目　3年
だってほら短い方がすきでしょう「女の髪（いのち）短し恋せよ乙女」　3年

【 早稲田大学短歌会作品 】

ブルーミングハート敬語だって気づくお互いに手を振った有馬記念　2年
わたしが催促したのにモモンガは天職のミニポシェットに就職しなかった　2年
夢を手玉取ってほしい乾拭きよ　ついに感熱紙をはみ出した私たち　3年
泣きながら着替えるファンアート.....でも水道からは喝采の冬休み　3年
畑のどこかから聞こえるNHK第一　無理を通すやりかた　3年
郊外のデニーズのパフェふぃぎゅ@　卑怯って言われてする表情　3年

坪谷小学校短歌作品展からスタートした牧水母校作品展。3 校そろっての開催は 6 年目を迎えた。3 校の協力なしには実現できない企画である。牧水展示室に入る前に足を止めて鑑賞されるお客さまが多くいらっしゃる。牧水のふるさと、ここ文学館でしかできない企画だと思っているが、3 校の協力をいただきながら是非とも今後も続け、牧水短歌に触れつつ、短歌をもっと身近に感じていただけたら嬉しく思う。右写真は展示の様子である。今回も手作りで仕上げた。坪谷小学校、延岡高校、早稲田大学短歌会の作品をどうぞ直に味わっていただきたい。

あくがれ広場牧水歌碑建立、除幕式　R4.12.18

あくがれ広場に立つ牧水歌碑

昨年 12 月 18 日（日）、青の國若山牧水短歌大会表彰式終了後、その足で日向市駅前あくがれ広場に向かった。全国341番目となる牧水歌碑誕生の瞬間を祝うためである。

日向市長、日向市教育委員会教育長をはじめ、青の國若山牧水短歌大会選者 伊藤一彦氏、同じく大口玲子氏にも参加いただき、除幕式を行った。

除幕の瞬間

建立日	令和 4 年 12 月 18 日除幕
建立者	「あくがれを愛する会」会長　田崎登保（のりやす）氏
場　所	日向市駅前あくがれ広場
歌　碑	けふもまたこころの鉦をうち鳴しうち鳴しつつあくがれて行く

日々の出勤通学に日向市駅を利用される方々、そして進学や転居等で日向を旅立って行かれる方々へ思いを込めて、田崎氏は今回の歌碑建立に臨まれた。

日向立つ君にエールを贈らむとあくがれの碑を駅前に建つ　　田崎登保